

憶児童センター新聞

THE AOKISenter NEWSepar

令和6年2月1日
発行 憶児童センター
宮崎市吉村町平塚甲
電話・FAX 26-5557

- ① 児童館は、サードプレイス！
- ② 交流ひろば「ようこそ赤ちゃん」
- ③ 野菜栽培この1年
- ④ 憶児童センター「インスタ」紹介

憶の発見！憶すごろく

R6年1月13日(土)に、小学生10名と憶中学生8名が、憶地域まちづくり推進委員会が製作した憶地区の名所「すごろく」を楽しみながら、憶地区の歴史や名所等について学びました。

特に、まちづくり推進委員会事務局長である赤星さんからは、憶古墳について詳しく教えていただき、改めて、自分の地域の良さを発見できたようです。また、小学生と中学生の交流の場ともなりました。



終わりには、防災用に購入した焚火台で焼いた焼き芋を持って帰ってもらいました。



憶古墳

- ・憶地域事務所東側
- ・前方後円墳
- ・古墳時代前期に造られたと考えられています。

子供・若者育成支援推進大綱では「全ての子供・若者が、家庭や学校とは異なる対人関係の中で社会的や豊かな人間性を育んだり、困難に直面したときには支援を求めたりすることができるといった居場所(サードプレイス)を増やすことが明記されています。

児童館は、すべての子どもが自由に来館して過ごすことができ、遊び及び生活を通じて、その心身の健康増進を図り、知的・社会的適応能力を高め、情操を豊かにする役割を施設特性とする児童福祉施設です。また、子どもが困ったときや悩んだときに、話を聴き、受け止め、支援することができるとされています。



- 令和5年、こども家庭庁の創設を機に、児童館には、地域の「こどもの居場所」としての役割が再認識されるとともに、子どもの最善の利益を尊重した機能強化が期待されます。(児童館論【改訂版】より抜粋/児童健全育成推進財団)
- 【こどもの居場所】の要素一部
- こどもや若者の意見・希望を反映できる機会がある。
 - こどもがありのままにいられる。
 - こどもを受容する場である。
 - こどもが安心かつ安全に過ごせる。
 - 味方になってくれる大人がいる。
 - 気軽に行ける、いつでも自由に一人で行ける。
 - 多様な人と出まえ、繋がる。

児童館は、地域の子どもたちの遊び場、サードプレイスです

子どもたち 50 人に聞きました！

【回答人数:1年9、2年11、3年9、4年6、5年9、6年4】

1. 児童センターで好きな遊びは何ですか？(数字は人数)

読書・マンガ	17	卓球	14	ドッチビー	11	鬼ごっこ	10
人生ゲーム	9	ピアノ	9	バドミントン	8	一輪車	6
サッカーゲーム	5	縄跳び	4	マンカラ	2	塗り絵	4
シルバニア	2	ダブル	2	ウノ	2		

(1人)ウボンゴ、お絵描き、ドミノ、フラフープ、ままごと、パズル
なんじゃもんじゃ、赤ちゃんとおそび、竹馬、カロム、ブロック

2. 将来の夢は何ですか？

サッカー選手2	先生4	パテシエ2	お花屋さん2	アイドル
バレーボール選手3	動物研究	昆虫博士	ラグビー選手	医者、獣医師
幼稚園先生	歌ダンサー	マック	設計士	看護師
ケーキ屋さん	野球選手	宇宙飛行士	アイス屋さん	日本一周
動物飼育員	大工さん	ウェイトレス	美容師	パン屋さん
世界中の昆虫を捕まえたい	宝くじを当てる			お金持ち
マンガを全部読む				

3. 児童センターの先生方へのお願いとその回答

お願い	回答
本を増やして(マンガ7、動物の本1、色々1)	古本ですが増やしました。
塗り絵を増やして欲しい	はい、増やします。
新しいカードゲームが欲しい	検討します。
もっと体を動かせるものがやりたい。	一緒に考えましょう。
卓球台を使う前のボール打ち 20 回ルールをやめて欲しい。20 回できない人が台で打てないから。	ボールに慣れるために、頑張ってもらいたい。
児童センターをもう少し長く開けて欲しい。	今のところ難しいです。

○今回、子ども達 50 人にアンケートをとりました。いつでも、何か気づいた事や悩み相談とか、気軽に先生たちに相談してね。

私たちの声あれこれ

大きな夢に向かって頑張って

ポイ捨てしないで

海をきれいにしよう

戦争しないで!

バスケットがうまくなりた

友だちにやさしくしよう

憶地区を広くしてほしい

宿題減らして

幸せになって

もっとみんなと遊びたい

みんな、仲良くして欲しい

公共の場にゴミを捨てないで

遊びたくない時は、遊びにさそわないで



野菜栽培この1年

本年度はどの野菜も順調に育ってくれました。

月	栽培野菜
3	・人参、大根種まき
4・5	・ミニトマト苗定植 ・枝豆種まき ・さつま芋苗定植
6・7	・人参、大根収穫 ・ミニトマト、枝豆収穫
8・9	
10・11	・人参種まき・玉ねぎ定植 ・さつま芋収穫
12・1	・スナップえんどう苗植え ・白菜、人参収穫
3	・玉ねぎ収穫（予定）



本年度各野菜種まき/収穫参加者数

野菜	参加者数	野菜	参加者数
大根	34人	トマト	313人
人参	61人	さつま芋	11人
枝豆	31人	白菜	6人



《あおぎのアート》

お菓子等の空き箱類を使って、楽しくユニークな作品が生まれました。センター内に掲示しています。



十一月に行われた憶地区文化祭にも出品させていただきました。

《SDGSクイズ》

センター便りや各行事の前に、世界の諸問題をクイズにしています。

答は、誰でも回答しやすいように3択としています。世界の色々な現状課題を知ることが目的です。家で、親と一緒に考えた答えを持ってくる子どもたちもあり、大変うれしく思います。次のステップは、私たちにできることを考え、そして、家庭や学校で実践することです。

SDGsへの挑戦！



《おさがりの輪》
使わなくなった子どもたちの古着やおもちゃ、絵本類を捨てるのではなく、必要な人に譲り使ってもらおうという取組です。センター内に、そのコーナーを設け、いつでも受付・持ち帰りができます。

《ごみ分別チャレンジ》

環境問題は、私たちにとって、とても身近な問題です。センターではごみ分別ゲームを始めました。「燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ」に分けます。分別後、ごみのゆくえを調べます。1か月ごとにごみを変えて、いつでも挑戦できます。

子育て交流ひろば

0歳 『よっこそ赤ちゃん』

年間を通して、毎週水曜日～金曜日の午前中は、未就学親子を対象にした「子育て交流ひろば」を開いています。子育て中のママ、パパを応援します。

これまでは幼児さんを対象にした講座中心でしたが、本年度より、月に1回、0歳児を対象にした「よっこそ赤ちゃん」を開いています。

親子体操や手形・足形、水遊びなどの行事をはじめ、母子コーデイネーターや栄養士さんが、育児や食事等、個別相談にも対応していただいています。

0歳児ならではの「親の悩みや不安等の解消につながる」と好評をいただいております。

どうぞ、一人で悩まずに、児童センターに遊びに来てください。そして、気軽に相談してください。きっと、よい気分転換になりますよ。



- 【基本的な流れ】
- ① ごあいさつ
 - ② ママのストレッチ
 - ③ お名前呼び
 - ④ ふれあい手遊び
 - ⑤ 絵本の読み聞かせ
 - ⑥ 本日の行事
 - ⑦ 個別相談・情報交換会
 - ⑧ お知らせ挨拶

憶児童センター「インスタ」紹介

児童館・児童センターの行事の案内や活動紹介を、HPやインスタで発信しています。どうぞ、ご覧ください。

【ホームページ掲載内容】

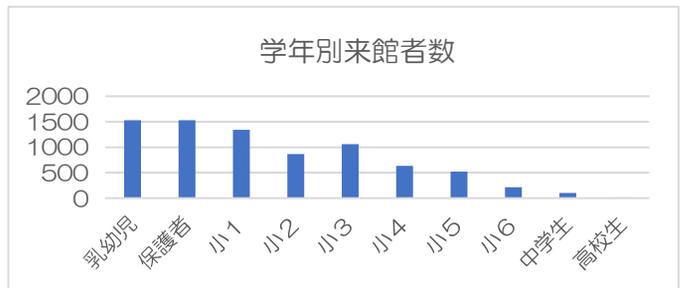
- ・センター便り（2か月ごとに）
- ・憶児童センター新聞（NO1～4号）
- ・行事予定（季節行事と子育て交流ひろば）

【これまで投稿したInstagram】

- ・憶児童センター施設案内
- ・防災ボードについて
- ・ぐるぐるパン焼き体験（小学生版）
- ・野菜収穫体験（大根、人参、トマト、枝豆）
- ・ハートフル（閉館前のボランティア清掃）
- ・東京おもちゃ美術館
- ・憶児童センターSDGsへの取組

本年度学年別来館者数(R6.1月まで)

学年	人数
乳幼児	1,528
保護者	1,526
小1	1,340
小2	864
小3	1,058
小4	633
小5	521
小6	214
中学生	99
高校生	14



本年度の来館者数は、コロナ前に戻りつつあります。月によっては、コロナ前より多い月もあります。学年別に見ると、小学校低学年が多く、学年が上がるにつれて少ない傾向にあります。中・高生の多くは、憶中や宮崎学園中高生が行事のボランティアで参加してくれています。

意見箱（声を聴かせて）

センター図書室に「意見箱」を設置しています。児童センターに置いて欲しい行事やクラブ等、何でもOKです。憶児童センターが、多くの子どもたちにとって、楽しく居心地の良い地域の居場所になるよう、皆さんの思いや考えを書いて意見箱に入れてください。

出された意見は、先生達で話し合い、参考にさせていただきます。実現が難しいものもあるかもしれませんが、皆さんの率直な意見を聴かせてください。

